

USBメモリのデータをパスワードで保護する方法（Mac）

パスワードを設定することができないUSBメモリでも、Macではパスワード保護をすることができます。

注) 暗号化されたUSBメモリはMac専用のフォーマットになってしまうので、Windowsが搭載されたパソコンでは使うことができません。

1 USBメモリのフォーマットを行います。

1.1 ディスクユーティリティを開いてください。



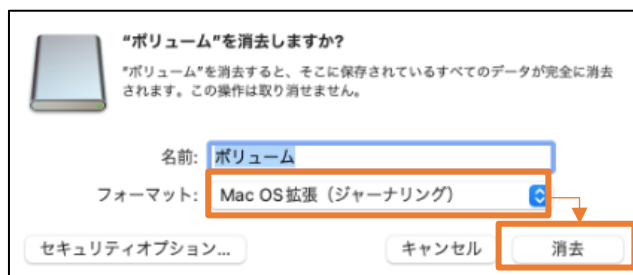
ディスクユーティリティ

1.2 左のメニューからUSBメモリ（外部物理ボリューム：ここでは「ボリューム」という名前です）を選択→「消去」を選択してください。

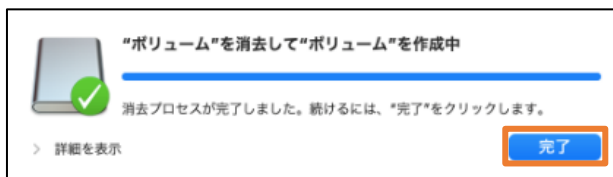


1.3 フォーマット形式は「Mac OS 拡張（ジャーナリング）」を選択し、右下の「消去」をクリックしてください。

フォーマットするとUSBメモリ内のデータは消去されますので、ご注意ください。



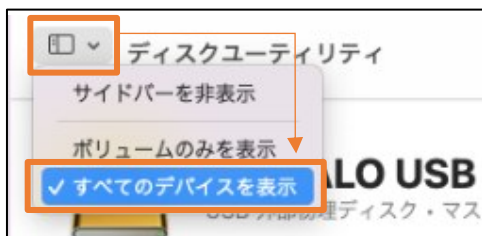
- 1.4 下記の画面が出たら「完了」をクリックしてください。



- 1.5 左のメニューから USB メモリ（外部物理ディスク：ここでは「BUFFALO USB Flash Disk Media」という名前です）を選択→「消去」を選択してください。



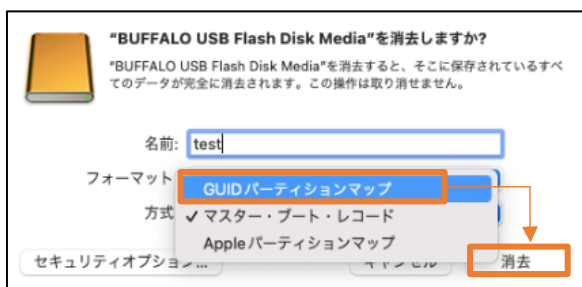
※左のメニューに USB メモリ（外部物理ディスク）が表示されない場合は、サイドバーのメニューをクリックし、「すべてのデバイスを表示」を選択してください。



- 1.6 以下の画面が出たら、フォーマット形式が「Mac OS 拡張（ジャーナリング）」となっているのを確認してください。



- 1.7 パーティション方式は「GUIDパーティションマップ」を選択し、右下の「消去」をクリックしてください。



- 1.8 下記の画面が出たら「完了」をクリックしてください。



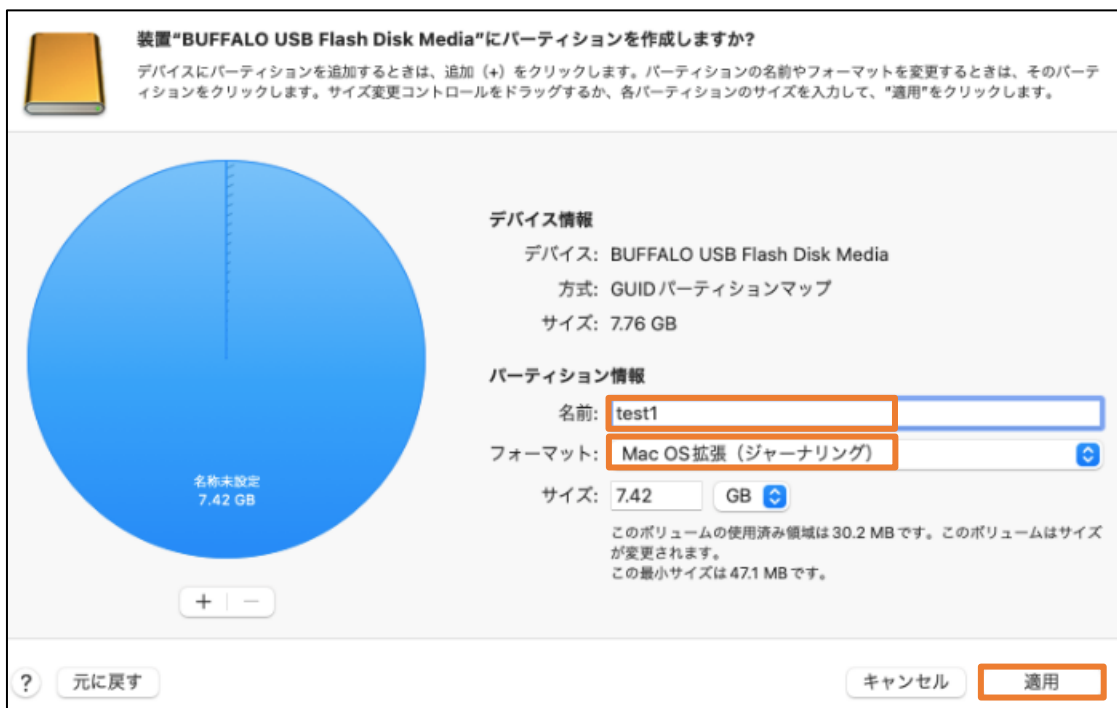
2 パーティションを作成します。

パーティションとは、ハードディスクを分割して、複数のハードディスクと同じような扱いで使用できることです。

- 2.1 左のメニューから USB メモリ（外部物理ディスク）を選択→「パーティションを作成」を選択してください。



- 2.2 以下の画面が出たら、パーティションの名前を入力し、フォーマット形式が「Mac OS 拡張 (ジャーナリング)」となっているのを確認した後、右下の「適用」をクリックしてください。



※名前を入力しないと次の手順に進めません。

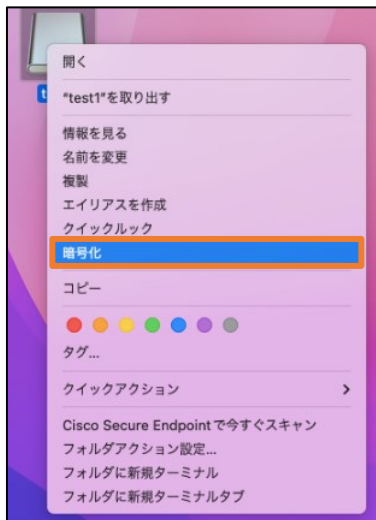
- 2.3 「パーティション作成」をクリックします。



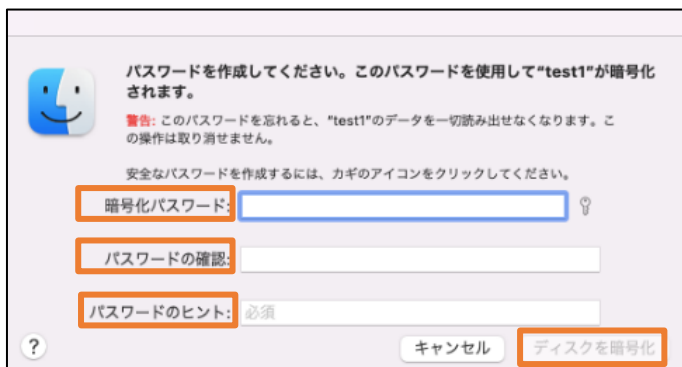
- 2.4 「完了」をクリックし、ディスクユーティリティを終了します。

3 暗号化を行います。

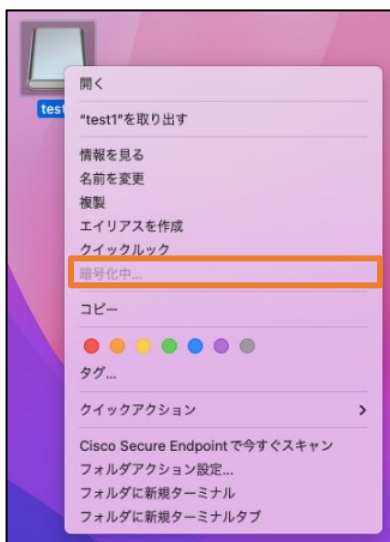
- 3.1 デスクトップに表示されている USB メモリのアイコンまたは Finder ウィンドウのサイドバーを副ボタンクリックし、「暗号化」を選択します。



- 3.2 「暗号化パスワード」と「パスワードの確認」、「パスワードのヒント」を入力→右下の「ディスクの暗号化」をクリックしてください。



- 3.3 USB メモリの暗号化が実行されます。3.1 で表示したメニューに「暗号化中…」と表示されている間は **USB メモリを抜かないでください**。



※PC や USB にもよりますが、暗号化に 30 分程度かかることもあります。

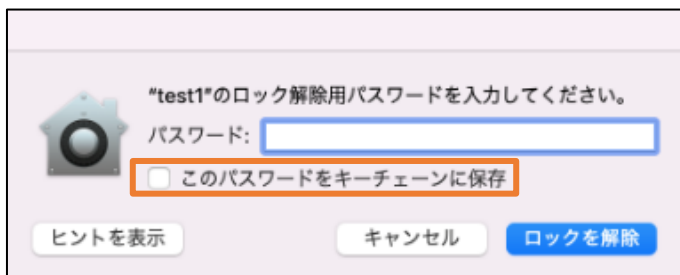
3.4 暗号化が完了したら「暗号解除」と表示されるので、一度 USB メモリを抜いてください。



4 暗号化された USB メモリの使用

4.1 暗号化された USB メモリを接続すると次のようなダイアログが表示されます。

パスワードを入力してロックを解除すると、USBメモリの読み書きができるようになります。



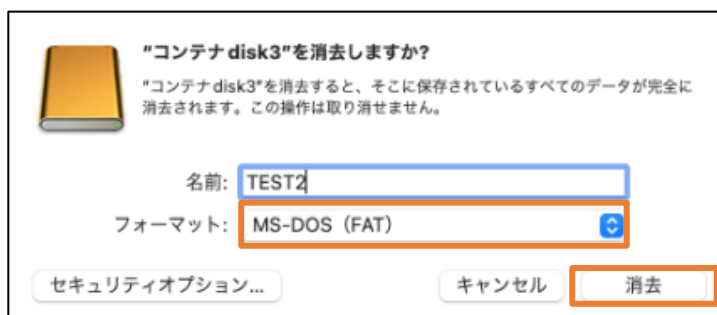
※「このパスワードをキーチェーンに保存」のチェックは外しておいてください。

USB メモリのパスワード保護と Mac 専用フォーマットを解除する方法

- 1 暗号化された USB メモリを接続します。このとき、パスワードは入力せず、キャンセルしてください。
- 2 ディスクユーティリティを開きます。左メニューで、作成した「test1」は選択できないため、直上の APFS コンテナ（ここでは「コンテナ disk3」という名前です）を選択します。その後、「消去」をクリックしてください。



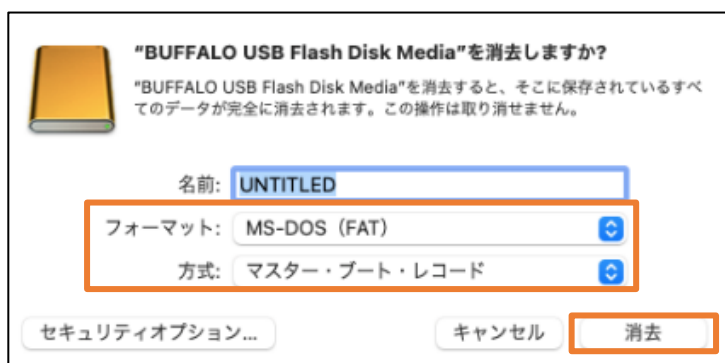
- 3 フォーマット形式は「MS-DOS(FAT)」を選択し、右下の「消去」をクリックしてください。
フォーマットすると USB メモリ内のデータは消去されますので、ご注意ください。



- 4 AFPS コンテナのフォーマットが完了したら、左メニューから USB メモリ（外部物理ディスク）を選択→「消去」を選択してください。



- 5 フォーマット形式は「MS-DOS(FAT)」、パーティション方式は「マスター・ブート・レコード」を選択して右下の「消去」をクリックしてください。



- 6 これで USB メモリのパスワード保護と Mac 専用フォーマットの解除は完了です。パスワード保護する前のように、Windows でも USB メモリが使用できます。